



一般社団法人電気自動車普及協会  
Association for the Promotion of Electric Vehicles

関係各位

**豪州ビクトリア州“Infrastructure Victoria” が APEV を来訪**

2018年5月24日

一般社団法人 電気自動車普及協会 (APEV)  
代表理事 田嶋 伸博

会員・報道機関各位

皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さる5月11日(金)東京大学情報学環福武ホールにて、オーストラリア・ビクトリア州 Infrastructure Victoria が弊協会 (APEV)を訪問し、情報交流を行いました。当日の内容について、下記の通りご報告させていただきます。

「記」

- ◆ 日時：2018年5月11日（金）13時-14時30分
- ◆ 場所：東京大学 情報学環・福武ホール ラーニングスタジオ
- ◆ 来訪者：
  - 1) Dr. Allison Stewart, Project Director, Automated & Zero Emission Vehicle, Infrastructure Victoria
  - 2) Ms. Laura Szekfy, Communication Lead, Automated & Zero Emission Vehicle, Infrastructure Victoria
  - 3) オーストラリア・ビクトリア州政府東京事務所 投資担当マネージャー 関 敏久 様
- ◆ APEV 参加者  
代表理事 田嶋 伸博  
理事 草加 浩平、佐藤 員暢、鈴木 高宏、事務局
- ◆ 内容
  - 1) Infrastructure Victoria(以下 IV と略)の紹介
    - ・IV はビクトリア州政府の州法で制定された、インフラ面での助言を政府に行う法定団体
    - ・今後 30 年の戦略を立てて、自動運転とゼロエミッション車に関する政策提言を '18 年 10 月に行う予定
    - ・国際調査のためにシンガポール、日本、UAE、オランダ、スウェーデン、フィンランドを訪問中
    - ・自動運転やコネクテッドカーの各種実証実験プログラムの説明
  - 2) APEV の紹介
    - ・目的と体制紹介
    - ・地域 e モビリティ推進委員会の説明
    - ・国際学生 EV デザインコンテストの説明
  - 3)Q&A
    - ・ IV から長崎の EV & ITS プロジェクトに対する質問があり鈴木理事が説明
    - ・IV から自動運転の EV に対するインパクトの質問があり、親和性の高い理由を説明
    - ・FCV はバス・トラック及び長距離トリップに適しているが、水素製造を自然エネルギーで行わなければ CO2 削減にならないとの見解を田嶋代表理事が述べた
    - ・中国は EV の開発と実用化が急速に進んでいるので、視察に行く事が草加理事から推奨された
    - ・4トンクラス郵便トラックやごみ収集車の EV コンバージョン事例を佐藤理事が説明した
- ◆ 写真は次ページ参照

◆ 写真



前列左から、ビクトリア州政府東京事務所 関 敏久様、IV Ms. Laura Szekfy、Dr. Allison Stewart  
後列左から APEV 安嶋、佐藤理事、鈴木理事、田嶋代表理事、草加理事、荒木次長



全景

以上

お問合せ

一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV) 事務局  
〒113-0033 文京区本郷 7-3-1  
東京大学 情報学環・福武ホール  
TEL: 050-3736-8325 FAX: 050-3153-2686  
E-mail: info@apev.jp  
Visit our website: <http://www.apev.jp/>